



# 「音鑑・冬の勉強会 2015」レポート

平成 27 年 12 月 26 日～27 日  
国立青少年オリンピックセンター

教員免許状更新講習（選択 12 時間）認定

## よりよい授業を求めて

60

●多くの先生方にご参加いただきありがとうございました。

### ◆アンケートから◆

- ・今までは、郷土の音楽は範囲が広いので、何をどう取り上げたらよいか分かりませんでした。その指導についてのヒントをたくさんいただいた。
- ・我が国の音楽の指導から社会と関連付けて価値づけする、ということを変更して学びました。
- ・生徒が主観的にとらえたものの客観的事実を対話や指導でとらえていくというのは、とてもよい方法だと思いました。
- ・音楽によって心を動く瞬間をつくること、子どもの言葉を音楽の言葉にすることの大切さについてよく理解できました。

### 12 月 26 日（土）

#### 1. 講演「よりよい授業を求めて」



講師：藤沢章彦（文教  
大学講師・財団理事）

まず、今回の勉強  
会 2 日間の概要・プ  
ログラム意図が話さ  
れました。

その後、両日にわたってプログラムに組ま  
れている「我が国や郷土の伝統音楽の指導」  
について、次の 4 つの視点で話されました。

- ・我が国や郷土の伝統音楽の範疇
- ・導入のためのいくつかの問題
- ・どうスタートさせ、目標をどこに置くか
- ・学校での音楽教育として

## 2. 講演「地域の音楽の魅力を知ろう」

講師：茂手木潔子（聖徳大学音楽学部教授）

地域の音楽、郷土の音楽（祭りの音楽・民謡）の概観が話されたのち、地域で異なる音色、旋律、テンポ感、音域について、映像資料などを提示しながら話されました。地域で創案されたユニークな楽器については、実物をお持ちいただき、実際に音を聞かせていただきました。

さらに、「地域の音楽の何を教えるか」については、「地物音楽の『めいめい』を尊重しよう」など、興味深いお話を伺いました。

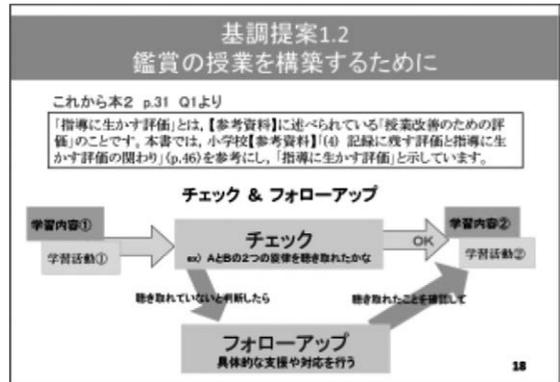


## 3. ワークショップへの基調提案

ワークショップ「指導と評価から考える『よりよい授業』」に向けて、音鑑研究委員会でのこれまでのまとめを次の2つの視点で提案しました。

### (1) 鑑賞の授業を構築するために

- ・鑑賞領域の指導事項と〔共通事項〕
- ・学習評価について
- ・チェック&フォローアップ



### (2) 我が国や郷土の伝統音楽を取り扱う授業実践に向けて

- ・学習指導要領の内容
- ・教材選択の観点

提案：

館 雅之（写真右）

（神奈川県横浜市立高田東小学校校長）

萬 司（左）

（北海道札幌市立柏丘中学校主幹教諭）

#### 4. ワークショップ「指導と評価から考える『よりよい授業』」

##### ●ワークショップの概要

- ・〔共通事項〕を窓口にした楽曲分析の実際
- ・授業場面における評価と支援（チェック＆フォローアップ）の工夫の検討

小学校分科会 教材：「春の海」



提案：

- 石井ゆきこ（東京都港区立芝小学校主任教諭）  
 梅宮真里（福島大学附属小学校教諭）  
 河崎秋彦（茨城県取手市立取手小学校教諭）  
 熊倉佐和子（東京都練馬区立関町北小学校主幹教諭）  
 館 雅之（神奈川県横浜市立高田東小学校校長）

12月27日（日）

#### 5. 助成研究発表

「楽曲の特徴や演奏のよさを感じ取るための対話を取り入れた音楽鑑賞授業の工夫」

##### ●発表の概要

- ・育てたい資質・能力・態度について
- ・授業づくりの要素について
- ・対話型美術鑑賞の音楽科鑑賞授業への援用
- ・対話を取り入れた授業から見てきたこと

中学校分科会 教材：「六段の調」



提案：

- 安部文江（長野県御代田町立御代田中学校教諭）  
 長者久保希史子（青森県八戸市立三条委中学校教諭）  
 萬 司（北海道札幌市立柏丘中学校主幹教諭）

- ・模擬授業を通して、フォローアップの手立てについて具体的に考えることができました。
- ・小グループによる演習で、評価や支援の方法は「やっぱりそうだよネ」という所に落ち着くことが確認できたのでよかったです。



発表：森保尚美（写真上）

（広島音楽鑑賞授業研究会／広島女学院大学准教授）

講評：藤沢章彦（文教大学講師・財団理事）

## 6. 講演「音楽の授業のさらなる充実 ～今後の動向を見据えて～」

講師：臼井 学（文部科学省教科調査官）



### ●講演内容要旨

- ・音楽科の目標と能力の関係
- ・音楽によって「心が動く」瞬間
- ・学年間・校種間の連続性や系統性を踏まえた授業実践
- ・我が国や郷土の伝統音楽を扱うことについて



- ・〔共通事項〕の本来の趣旨を生かした授業について
- ・今後の動向について

## 7. 音楽講座「我が国の郷土の音楽 ～お囃子～」

出演：神田囃子保存会

### ●音楽講座の概要

- ・囃子の歴史（神田囃子の由来など）
- ・神田囃子の演奏スタイル（使用する楽器など）
- ・演奏「素囃子」
- ・ワークショップ（「投げ合い」を締太鼓、大胴、四助に分かれて体験）
- ・演奏と舞「寿獅子」



- ・生で神田囃子が聴けたこと、背景や楽器の役割などとても勉強になった。
- ・お囃子、獅子舞を体験、鑑賞できて、お祭り、郷土音楽が本当は(根っこ)は楽しいものなんだということが分かった。楽しい気持ちを忘れず、重点は押さえて指導していきたい。

●平成28年度は、12月27日（火）～28日（水）に行います。10月中旬から募集を開始します。是非ご参加ください。